

地域医療構想実現に向けた取組状況等 (令和6年度)

釜石保健医療圏（構想区域）の状況	1
岩手県立釜石病院	3
岩手県立大槌病院	5
独立行政法人国立病院機構釜石病院	7
医療法人楽山会 せいいてつ記念病院	9
医療法人仁医会（財団） 釜石のぞみ病院	11
医療法人仁医会（財団） 釜石厚生病院	13
庄子医院	15
医療法人堀医院 堀耳鼻咽喉科眼科医院	16

(具体的対応方針 構想区域総括表)

釜石構想区域

構成団体 (釜石市、大槌町)

総面積 (km ²)	640.77	基準病床数 (床)	628	R 7 必要病床数 (床)	549
------------------------	--------	-----------	-----	---------------	-----

(1) 人口 (10月1日現在)

	令和6年 (2024年) (岩手県人口移動報告)	令和2年 (2020年) (国勢調査)	令和7年 (2025年) (社人研推計)
圏域総人口	39,160	43,082	38,904
75歳以上人口	9,137	9,409	9,420
75歳以上比率 (%)	23.3%	21.8%	24.2%

外来の完結率 (患者住所地) (R元岩手県医療等ビッグデータ)	
圏域内	87.5%
盛岡	5.1%

(宮古1.8%、気仙1.5%)

(2) 医療機関、介護施設の状況

総病院数	6
診療所施設数 (特養医務室含)	29
地域包括ケア病床数	49
在宅療養支援診療所	3
在宅療養支援病院	2
訪問診療施設数	6
訪問診療実施件数 (令和5年9月)	195
在宅看取り施設数	2
在宅看取り実施件数	6
医師の総数 (常勤換算)	98.5
看護師・准看護師の総数 (常勤換算)	526.5
薬剤師数 (常勤換算)	20.1
P T・O T・S Tの総数 (常勤換算)	48.0
10万人当たりの医師の総数	251.5
10万人当たりの看護師・准看護師の総数	1,344.5
10万人当たりのP T・O T・S Tの総数	122.6
1人当たりの医療費 (円)	636,289

(3) 療養病床の状況

病院名	病床数
釜石のぞみ病院	102

(4) 介護施設等の状況

種類 (施設数)	定員
介護療養型医療施設 (0)	-
介護老人保健施設 (3)	288
介護老人福祉施設 (延べ7)	365
グループホーム (10)	144
特定施設 (軽費老人ホーム等) (0)	-
サ高住 (非特定) (0)	-

(5) 人工透析患者の状況

医療機関名
県立釜石病院 (釜石市)
せいてつ記念病院 (釜石市)

(6) リハビリテーション支援センター等

地域リハビリテーション広域支援センター せいてつ記念病院 (釜石市)

備考 (令和6年11月1日現在)

【地域包括ケア病棟入院料届出病院】 県立大槌病院 (30床)、県立釜石病院 (19床)
【回復期リハビリテーション病棟入院料届出病院】 なし

出典

地域包括ケア病床数	地方厚生局届出受理医療機関名簿 (R 6. 11)	在宅看取り実施件数	令和5年医療施設 (静態・動態) 調査
在宅療養支援診療所	地方厚生局届出受理医療機関名簿 (R 6. 11)	医師の総数	令和5年医療施設 (静態・動態) 調査
在宅療養支援病院	地方厚生局届出受理医療機関名簿 (R 6. 11)	看護師・准看護師の総数	令和5年医療施設 (静態・動態) 調査
訪問診療施設数	令和5年医療施設 (静態・動態) 調査	薬剤師数	令和5年医療施設 (静態・動態) 調査
訪問診療実施件数	令和5年医療施設 (静態・動態) 調査	P T・O T・S Tの総数	令和5年医療施設 (静態・動態) 調査
在宅看取り施設数	令和5年医療施設 (静態・動態) 調査	1人当たりの医療費 (円)	令和4年度 (2022年度) 医療費の地域差分析

許可病床ベース

構想区域	機能区分	具体的対応方針（許可病床）										R 7 必要 病床数 D	差引 C-D	構想区域 の概況
		R 5 病床数 A	R 6 病床数 B	R 7 病床見込数 C										
				計	病院					有床診療所				
					県立 釜石	県立 大槌	国立 釜石	せいてつ 記念	のぞみ	庄子 医院	堀耳鼻咽 喉科眼科 医院			
釜石	高度 急性期	0	0	0								31	▲ 31	不足
	急性期	180	180	180	180							130	50	過剰
	回復期	169	169	102		50		52				165	▲ 63	不足
	慢性期	334	334	386			180	52	154			223	163	過剰
	休床等	21	21	21						16	5	0	21	
	合計	704	704	689	180	50	180	104	154	16	5	549	140	

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立釜石病院
-----	----------

診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、眼科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科
------	---

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	180					180.0
	稼動	180					180.0
	非稼動						0.0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	135.0					135.0
	R04	143.0					143.0
	R05	136.0					136.0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	51.2					51.2
	R04	58.6					58.6
	R05	66.5					66.5

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	15.5					15.5
	R04	17.0					17.0
	R05	14.9					14.9

病床機能(一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R06報告		180				180
	R07見込		180				180

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期 令和5年10月1日開始

なし

次ページ 2へ

○ 利用する補助金

- ・なし
- ・あり

地域医療介護総合確保基金を利用

その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立釜石病院
-----	----------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

《病院理念》

○患者さん中心の安全で良質な医療を提供

《基本方針》

○患者さんの人権を尊重し、その尊厳を守りながら医療を提供

○患者さん中心の医療を実践するため、患者さんの声をよく聞き、理解し、インフォームドコンセントに基づいた医療の実施

○根拠に基づいた医療の提供

○地域に密着した医療提供をするため、他の医療機関・施設との連携の推進

○患者さんの健康と生命を守るため、全職員は人間愛を持って自己研鑽に努め専門性を結集

○上記項目を実現、継続するために、健全な病院経営を目指す

《医療機能》

○釜石保健医療圏唯一の急性期病院の機能を担い、一般医療と救急医療を維持するとともに回復期患者や感染症に対応

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

○超伝導磁気共鳴診断装置(MRI)1.5テスラ

○全身用X線CT装置 32列

○リニアック

○X線血管撮影装置

○乳房X線撮影装置

○X線テレビ装置

○シンチレーションカメラ

○超音波内視鏡装置

○心臓用超音波診断装置

○産婦人科用超音波診断装置

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

○地域医療福祉連携室の体制強化による他医療機関、福祉、介護施設等との連携と役割分担の推進

・入退院支援の充実・強化

・OKはまゆりネットでの情報共有や利用の促進

・OKスクラムネットでの情報提供や連携・協働の推進

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

○地域包括ケア病床の適切な運用の取組(令和6年2月から19床運用開始)

・退院指導や訪問診療・看護との連携による在宅復帰支援の取組

・在宅医療連携拠点チームかまいしとのネットワーク連携の活動

・レスパイト入院受入れの推進

(3) 医療従事者の確保

○医師の確保

・常勤医師の増員と1人診療科の解消

・非常勤医師による診療科の常勤化

・診療応援体制や当直体制の確保

○看護師等の医療従事者の確保

・看護師、薬剤師、医療社会事業士等の必要な専門職の確保

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

○リハビリテーション機能の充実

・急性期リハビリテーションの365日実施の継続と充実

・地域包括ケア病床でのリハビリテーションの実施

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立大槌病院
-----	----------

診療科目	内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科
------	------------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	50					50
	稼動	50					50
	非稼動						0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	23.2					23.2
	R04	19.8					19.8
	R05	17.0					17.0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	47.4					47.4
	R04	39.6					39.6
	R05	34.0					34.0

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	22.8					22.8
	R04	18.9					18.9
	R05	18.6					18.6

病床機能 (一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R06報告			50			50
	R07見込			50			50

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立大槌病院
-----	----------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

<p>1 病院運営の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none">① 地域の医療機関等と支えあい診療機能の充実を目指します。② 地域住民から信頼される病院づくりを推進します。③ 良質な医療サービスを支える経営基盤を確立します。④ 満足度の高い医療サービスの提供を推進します。⑤ 環境の変化に柔軟に対応できる人づくりと明るく働きがいのある職場づくりを実践します。 <p>2 担う医療機能等</p> <p>内科、外科の入院機能を有した亜急性期・回復期(慢性期含む)の機能</p>

(2) 保有する検査機器等（エックス線、CT、MRI、内視鏡等）

<p>主な医療機器</p> <p>CT、X線一般撮影装置、X線TV装置、内視鏡システム、超音波検査装置、生化学自動分析装置、心電計、生体情報モニター</p>
--

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

<ul style="list-style-type: none">1 地域医療構想を踏まえた地域の医療機関等との連携推進への適切な対応2 地域医療福祉連携室を中心とした介護・保健・福祉との連携体制の強化3 地域包括ケア病床の地域への浸透4 一般生活者(住民)の視点から充実した在宅・生活復帰支援

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

<ul style="list-style-type: none">1 訪問診療の拡充（体制強化） 家庭環境(介護能力)の把握と行政等と連携した支援の実施2 地域包括ケア病床の地域への浸透 (ときどき入院・ほぼ在宅)

(3) 医療従事者の確保

<ul style="list-style-type: none">1 医療局医師支援推進室との連携強化による診療機能に応じた常勤医師の確保2 教育・研修体系等ホームページの活用と岩手県立病院看護科PR動画「私が岩手県立病院を選んだ7つの理由」の公開(情報発信)による看護師の確保3 医療者育成のための中学生高校生等への啓もう活動の実施4 ワークライフバランスを考慮した多様な勤務形態の継続5 勤務環境改善計画及び業務負担軽減計画の実施による働きやすい勤務環境の提供

(4) その他（認知症対策、回復期リハビリテーション等）

<ul style="list-style-type: none">1 認知症対策<ul style="list-style-type: none">① 各市町包括支援センターとの連携強化② アクティビティケアの実施 週1回複数人の実施(令和元年度開始)に加え個別実施2 回復期リハビリテーション<ul style="list-style-type: none">① 地域包括ケア病床利用患者(維持期)へのサービス提供② 一般病床利用患者(維持期)へのサービス提供3 緩和ケア(終末期) がん患者への緩和ケア(終末期)の提供
--

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	独立行政法人国立病院機構釜石病院
-----	------------------

診療科目	内科、神経内科、小児科、リハビリテーション科、歯科
------	---------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	180					180
	稼動	180					180
	非稼動	0					0

一日平均 入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	172.9					172.9
	R04	170.3					170.3
	R05	169.9					169.9

病床 利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	96.1					96.1
	R04	94.6					94.6
	R05	94.9					94.9

平均 在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	107.1					107.1
	R04	1593.6					1593.6
	R05	1337.3					1337.3

病床機能 (一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R06報告				180		180
	R07見込				180		180

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし

↓
次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	独立行政法人国立病院機構釜石病院
-----	------------------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

脳神経系疾患の重症慢性期を対象とした障害者を中心とした特殊疾患療養病棟と重症心身障害児(者)医療を通じて国民への奉仕と医療の提供

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

CT-16 列、X線単純(固定+ポータブル)、脳波計2台、心電図、生化学分析装置、体組成計、血管伸展性検査計

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

医療を必要とする重症慢性期の脳神経疾患の患者さんで、繰り返す肺炎などにより家庭/施設等での介護が困難になった患者さんを引き受けることで、地域の介護力をサポートする。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

当院自体が在宅医療を直接行うのではなく、在宅医療を行っている診療所等と連携してのサポート(レスパイト入院・症状悪化に伴う入院等)を行っていく。

(3) 医療従事者の確保

常勤医師を2名増員するとともに、国立病院機構内の医師派遣を受けてはいるが継続性を担保することは困難で、医療法上必要とされる医師数を確保することは極めて難しい状況が今後とも続くと想定している。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

年に1回は市民公開講座を開催し、脳神経系の疾患や病態を市民にわかりやすく解説・啓蒙している。リハビリや栄養管理室なども地域に貢献する活動に参加している。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人楽山会 せいてつ記念病院
-----	------------------

診療科目	内科・循環器科・糖尿病内科・腎臓内科・人工透析内科(透析センター)、外科、心臓血管外科、整形外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、臨床検査科、リハビリテーション科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	119					119
	稼動	119					119
	非稼動	0					0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	89.0					89.0
	R04	85.0					85.0
	R05	97.0					97.0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	74.8					74.8
	R04	71.4					71.4
	R05	81.5					81.5

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	42.0					42.0
	R04	48.0					48.0
	R05	55.0					55.0

病床機能(一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R06報告			119			119
	R07見込			52	52		104

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期 令和7年7月1日) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり ■地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	平成30年度病床機能報告上において回復期119床と報告している。 ただし、平成30年当時の実態は急性期36床+回復期60床+慢性期23床=計119床の構成となっている。
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	釜石圏域の過剰病床の削減に資する。
【整備計画】	令和7年6月末までに15病床を削減する。

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人楽山会 せいてつ記念病院
-----	------------------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

ふれあいを大切に安心と生きる喜びを共に実感できる 最善の保健・医療・福祉サービスを提供し、地域社会から信頼される存在となる。

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

- ・多目的一般撮影装置(2台)、胸部X線撮影装置、X線透視装置
- ・マルチスライスCT(64列)、MRI(1.5テスラ)
- ・免疫検査測定装置
- ・血液ガス分析装置 ・生化学自動分析装置 ・血液学的分析装置
- ・X線骨密度測定装置 ・超音波画像診断装置 ・静的量的視野検査計 ・光干渉断層計 ・白内障手術装置

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・他院との連携強化(急性期病棟、地域包括ケア病棟等からの回復期・慢性期患者の受入強化)
- ・法人内の介護老人保健施設、通所リハビリテーション及び訪問リハビリテーションにおける利用者の受入強化
- ・法人外の介護福祉施設及び在宅介護サービス事業所との連携強化
- ・特に透析患者で日常生活に困る方に対する支援または援助(釜石地域に限定せず他地域からの受入も強化)

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

- ・レスパイト入院の受入強化(メディカルショートステイ)
- ・在宅サービス(通所リハビリ・訪問リハビリ)提供による在宅医療支援

(3) 医療従事者の確保

- ・医師確保が最重要課題。関係大学、関係病院との連携の強化、紹介会社活用を含めて広範な採用活動を展開
- ・看護学生奨学金制度の継続、学生、生徒の職業体験実習の受入等により、医療従事者の確保につなげる。
- ・患者アンケート等を活用し職場環境の現状把握に努め、必要に応じた改善を図ることでより働きやすい環境を整備する。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・要リハビリ対象者の積極的受入強化(病院の他、同法人の介護老人保健施設による受入)
- ・在宅サービス(通所リハビリ・訪問リハビリ)提供による在宅介護の充実
- ・在宅介護支援センターによる認知症啓発活動

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人仁医会(財団)釜石のぞみ病院
-----	--------------------

診療科目	内科、外科、眼科、精神科
------	--------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	52	102				154
	稼動	52	102				154
	非稼動	0	0				0

一日平均 入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	41.2	90.1				131.3
	R04	40.5	89.9				130.4
	R05	40.4	89.8				130.2

病床 利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	79.2	88.3				89.2
	R04	77.9	88.1				85.6
	R05	86.8	91.2				89.0

平均 在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03	40.0	332.0				130.6
	R04	37.0	288.0				162.5
	R05	43.0	329.0				186.0

病床機能 (一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R06報告				154		154
	R07見込				154		154

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) (なし)



(なし)



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人仁医会(財団)釜石のぞみ病院
-----	--------------------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

三陸沿岸南部地域での慢性期病院としての医療提供
釜石医療圏域での、急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供の慢性期分を担う。

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

- ・全身用エックス線CT装置
- ・診断用エックス線装置
- ・カセットレスエックス線透視撮影装置
- ・エックス線ポータブル撮影装置

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・医療相談室の強化による入退院調整機能の充実を検討(自宅退院、施設入所を担う職員との連携を図る)

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

- ・医療相談室の強化による入退院調整機能の充実を検討(自宅退院、施設入所を担う職員との連携を図る)

(3) 医療従事者の確保

- ・看護師等医療職希望者への奨学金貸与による人材育成と確保を継続

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人仁医会(財団)釜石厚生病院
-----	-------------------

診療科目	精神科、神経内科、内科
------	-------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可			204			204
	稼動			170			170
	非稼動			34			34

一日平均 入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03			187.3			187.3
	R04			170.0			170.0
	R05			161.9			161.9

病床 利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03			91.8			91.8
	R04			83.2			83.2
	R05			79.4			79.4

平均 在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R03			1101.7			1101.7
	R04			1181.0			1181.0
	R05			1049.0			1049.0

病床機能 (一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R06報告						0
	R07見込						0

○ 病床機能等の再編予定 **あり** (運用開始予定時期 未定) なし



○ 利用する補助金 **なし**
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	・患者数の減少 ・建物・設備等の老朽化
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	・系列病院との統合も模索中

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人仁医会(財団)釜石厚生病院
-----	-------------------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

- 地域医療への貢献
- 患者等への心身のケア
- 精神科の正しい理解の普及
- 看護師、准看護師、作業療法士などの育成支援

■ 認知症疾患医療センター(連携型)

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

エックス線、脳波計、心電計(3台)、心電図モニター(4台)、超音波(1台)、分光光度計、インフルエンザ分析機(簡易)

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・ 医療相談室における介護サービス等の利用案内、相談受付

(2) 在宅医療の充実にに向けた取組について

- ・ 精神科訪問看護の実施
- ・ 訪問看護ステーションとの連携
- ・ チームかまいし関連研修会への参加
- ・ 医療機関への紹介・逆紹介

(3) 医療従事者の確保

- ・ 医師については、関係大学に対する派遣要請や、有料人材派遣会社の活用などを行うほか、関連病院からの診療応援を継続しつつ、その充足に努める。
- ・ 看護師及び准看護師については、ハローワーク、看護協会及び有料人材派遣会社の活用を図っているほか、病院独自の奨学金貸付制度を設けるなど、人材確保に向けて多様な手段でアプローチを行っている。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・ 関連機関との連絡調整
- ・ 外来、入院診療実施
- ・ 介護サービスの利用案内・相談受付

具体的対応方針(庄子医院の役割と機能)

所在地： 庄子医院

1 診療科目

診療科目	産婦人科、内科、外科、小児科、皮膚科
------	--------------------

2 病床機能

病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
(稼働)	R5報告	0	0	0	0	16	16
	R7見込	0	0	0	0	16	16

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・平成23年より16床全て休床としている。今後、地域の医療需要を参考にしながら病床機能の転換を検討していく。

具体的対応方針(堀耳鼻咽喉科眼科医院の役割と機能)

所在地: 堀耳鼻咽喉科眼科医院

1 診療科目

診療科目	眼科、耳鼻咽喉科
------	----------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R5報告	0	0	0	0	5	5
	R7見込	0	0	0	0	5	5

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・眼科、耳鼻咽喉科領域の検査及び治療を専門的に行っており、主に県立釜石病院と連携している。
・現在5床全て休床としている。今後、地域の医療需要を参考にしながら病床機能の転換を検討していく。